

高欄を流用した魚市橋の架替え

左岸バイパス水路工事に伴う魚市橋の架替え

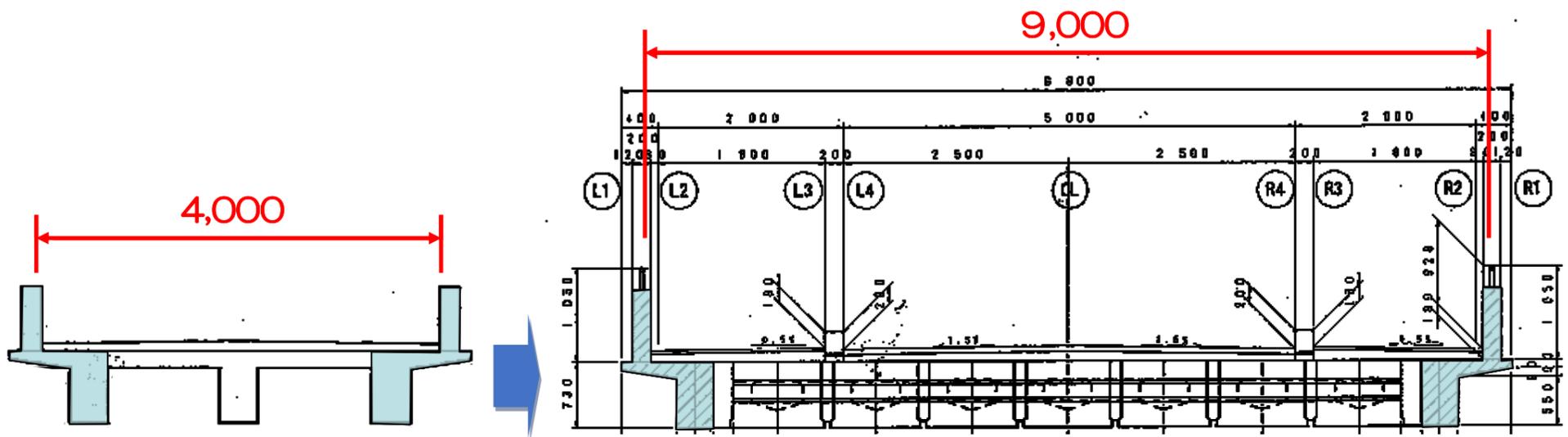
魚市橋は、眼鏡橋の1つ上流に架かる橋です。大水害時のものは大正14年に架けられた橋でしたが、左岸バイパス水路工事に伴い、架替えを行いました。当時幅員4.0mであった橋を架替えにあたり9.0mに拡幅することとなりましたが、大正時代の橋の特徴的な高欄を架替え後の新しい橋に再度取付けを行うことで、歴史的形態を保存する配慮がなされました。



(架替え前の魚市橋)



(架替え後の魚市橋)



(魚市橋架替え前後の断面図) 図中水色着色部の高欄を切断して、架替え後の橋に再利用している。



(高欄部切断移設状況)



(新設桁と既設高欄部接合)